

ASEAN 大使通信

第 12 回 「制度化」と「可視化」

2023 年（令和 5 年）11 月 30 日



模擬 ASEAN+日本（2023 年 11 月 9 日、ASEAN 財団提供）

今日で着任後ちょうど 1 年、ASEAN 大使通信も第 12 回です。11 月は、年末の日 ASEAN 特別首脳会議に向けて、引き続き多くの行事が開催され、日 ASEAN 関係の広さと深さを実感した 1 か月となりました。月初めにシンガポールで日本・ASEAN 経営者会議に出席し、週末にはジャカルタに戻って代表部主催のウォーク＆ラン行事に参加しました。翌週は日 ASEAN50 周年のメディア向け講演を行い、日 ASEAN 人権対話に出席し、模擬 ASEAN+日本の参加学生と交流しました。更に翌週は拡大 ASEAN 国防相会議に出席し、週末はジャカルタ日本祭りに参加して日 ASEAN50 周年ブースを視察しました。下旬には ASEAN 防災機関職員研修卒業式、AOIP 海洋協力セミナー、JETRO 主催 ASEAN セミナー講演、経団連ミッションの来訪があり、本当に盛り沢山でした。

特別首脳会議の準備がいよいよ大詰めを迎える中で特に大事と感じたのが、50 周年を契機に日 ASEAN 間の幅広い交流や協力が定着し発展するように「制度化」し「可視化」していくことです。今回の大使通信では、今月の行事や成果を皆さんにご紹介するとともに、日 ASEAN 交流・協力の「制度化」と「可視化」の重要性について一緒に考えていきたいと思います。



第 49 回日本・ASEAN 経営者会議（2023 年 11 月 3 日）

●日 ASEAN ビジネス協力

11 月 3 日、シンガポールで[日本・ASEAN 経営者会議](#)が開催されました。この会議は、1974 年から経済同友会と ASEAN 各国のカウンターパートが毎年共催してきたもので、今回で 49 回目となります。私は昼食懇談会で日 ASEAN50 周年についての[講演](#)を行いました。

50 回目以降も見据えて、コンサルティング会社の協力も得つつ、今回から会議の運営方法を大きく変革した由です。「価値共創時代の日・ASEAN の共通課題～グリーン、デジタル、人材～」をテーマに、日 ASEAN 双方の参加者が議論を深めました。特に、価値共創を支える人材の育成・活用・還流のセッションでは、次世代・若者を課題解決・価値創造の主役に据えるプラットフォームの立ち上げに向けてブレインストーミングが行われました。来年はタイで開催予定です。

11 月 28 日にはジャカルタに経団連ミッションが来訪してインドネシア政府や ASEAN 事務局と意見交換を行い、私からも最新状況を説明しました。12 月 16 日には東京で「[日 ASEAN 経済共創フォーラム](#)」が開催されます。その機会を最大限に活用すべく、日本と ASEAN の経済団体は準備を加速しています。



Golden Friendship ウォーク & ラン行事（2023 年 11 月 5 日）

●交流行事の開催

11 月 5 日の日曜日の早朝、ジャカルタ市の GBK スタジアム周辺で、日 ASEAN 友好協力 50 周年記念の交流行事として「[Golden Friendship ウォーク & ラン](#)」が開催されました（[動画](#)）。テーマはスポーツを通じた脱炭素と健康の推進です。天候にも恵まれ、ASEAN 事務局、ASEAN 加盟国や対話国の代表部などから約 100 名の参加を得て、皆で汗を流す楽しいひとときとなりました。この行事は、ASEAN 全加盟国と日本で参加できるよう、11 月 1 日～29 日にオンラインでも開催され、5 千人以上の参加を得ることができました。

11 月 18 日～19 日の週末には、[ジャカルタ日本祭り](#)が開催されました。開会式への出席後、会場のブースを回り、官民連携行事の力を感じました。日 ASEAN50 周年のゲーム企画「[Golden Mission](#)」のブースは子供たちに大人気で、1 千人以上のお客様が遊びに来られました（[動画](#)）。12 月 19 日まで[オンライン](#)で引き続き開催中です。ASEAN や日 ASEAN 関係のクイズに答えれば抽選で賞品が当たりますのでお試しください。

前日の 17 日夜には、ASEAN 事務局チームと日本大使館・代表部チーム対抗の[フットサル親善試合](#)が行われ、観戦させていただきました。それぞれ職場の同僚が新たな素顔を見せる機会となり、大いに盛り上がりました！



ERIA・ジャカルタポスト共催編集者ラウンドテーブル
(2023 年 11 月 7 日)

●日 ASEAN 友好協力 50 周年の発信

11 月 7 日、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）に先般開設されたデジタルセンター（DISC）で、ERIA・ジャカルタポスト共催の「[第 12 回 ERIA 編集者ラウンドテーブル](#)」が開催されました。ASEAN を中心に各国の首都から主要メディアや有識者を招き、ASEAN のデジタル化と地政学的課題をテーマに議論を深めるものです。私は 50 周年を迎えた日 ASEAN 関係について[基調講演](#)を行う機会をいただきました。

11 月 24 日には、JETRO ジャカルタ事務所主催の [ASEAN セミナー](#)で、日 ASEAN50 周年特別首脳会議をテーマに講演を行いました。ジャカルタの会場で約 40 名、オンラインで約 110 名が参加し、日 ASEAN ビジネスに携わる多くの関係者に日 ASEAN 協力の最新状況と今後の方向性についてお伝えすることができました。この講演の機会に、幅広い分野での関係省庁の取組を中心に約 80 頁の[スライド資料](#)を取りまとめましたので、ご活用いただければ幸いです。

11 月 30 日に発売された隔月発行の外交専門誌『[外交](#)』最新刊（11/12 月号）では、「躍動する ASEAN そして日本」が特集されていますので、よろしければご覧ください（Kindle では 12 月 8 日発売）。私のインタビュー記事「[日本と ASEAN ー信頼の歴史、共に創る未来](#)」はウェブサイトでも公開されています。



第2回日 AICHR インターフェース（2023年11月8日）

●日 ASEAN 協力の広がり

今月は、日 ASEAN 協力を更に深める諸行事が開催されました。11月8日には、ASEAN 本部で ASEAN 政府間人権委員会（AICHR）特別会合が開催された機会に、第2回日 [AICHR 協議（インターフェース）](#) が開催されました。私から、障害者の権利、女性の能力強化、人身取引の分野での協力実績について[説明](#)を行い、今後の協力の方向性について議論を深めることができました。

11月20日には、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム（CLMV）各国政府から ASEAN 事務局への[実務研修員を公邸に招待](#)しました。日 ASEAN 統合基金（JAIF）の協力事業（アタッチメント・プログラム）で、本年は各国3名ずつ1年間、更に来年議長国となるラオスは追加で4名を4か月間派遣しています。累計実績は120名で、ASEAN 内の行政能力強化と格差是正に役立っています。

11月23日には、ASEAN 防災人道支援調整（AHA）センター主催の[ASEAN 防災機関職員研修の修了式](#)に出席しました。JAIF の支援で ASEAN 各国から20名が参加して訪日研修も行い、目が開かれる経験をしたと聞いて嬉しく思いました。研修内容と参加者の感想が[短い動画](#)にまとめられているのでご覧ください。



日 ASEAN 防衛担当大臣会合
(2023 年 11 月 15 日、インドネシア国防相提供)

●日 ASEAN 間の大臣会合

11 月 16 日には、ジャカルタで[拡大 ASEAN 国防相会議（ADMM プラス）](#)が開催され、日本からは宮澤博行防衛副大臣が出席しました。参加国は東アジア首脳会議（EAS）と同じく、ASEAN と日中韓豪 NZ 印米口の 18 カ国です。

宮沢副大臣からは、ロシア、東シナ海・南シナ海、北朝鮮、ミャンマーなどの地域情勢や、PKO 専門家会合をはじめとする日本の協力について発言しました。また、2024-27 年の専門家会合の議長組合せについて、海洋安全保障の共同議長は、今の米国・タイから日本・フィリピンが引き継ぐことが決まりました。

前日の 15 日には、木原防衛大臣も東京からオンラインで参加して、[日 ASEAN 防衛担当大臣会合](#)が開催されました。木原大臣は、日 ASEAN の防衛協力を新たな段階へと進めるための 4 つの柱を「防衛協力強化のための日 ASEAN 大臣イニシアティブ（Japan-ASEAN Ministerial Initiative for Enhanced Defense Cooperation: JASMINE）」として提示しました。

また、10 日にはラオスで[日 ASEAN 交通大臣会合](#)が開催され、今後 10 年間に向けた新たな行動計画「ルアンパバーン・アクションプラン」が採択されました。



ASEAN 事務局での和食イベント（2023 年 11 月 21 日）

●日 ASEAN 農業シンポジウムと和食イベント

11 月 21 日には、ASEAN 事務局・農林水産省の共催（ERIA の支援）による、強靱で持続可能な農業と食料システム推進のためのイノベーション・シンポジウムが ASEAN 事務局で開催されました。

小川良介農林水産審議官は開会セッションで、先月の[日 ASEAN 農林大臣会合](#)で採択された「[日 ASEAN みどり協カプラン](#)」を踏まえ、イノベーションを通じて ASEAN 地域の強靱で持続可能な農業と食料システムの構築に貢献していくと表明しました。午後のセッションでは、衛星データと AI を活用して農地を解析し生産性向上と脱炭素を推進する日本のスタートアップの[サグリ](#)をはじめ、日 ASEAN 双方の企業によるイノベーションの取組が紹介されました。

同シンポジウムの昼食にあわせて、ASEAN 事務局で毎年開催が恒例となっている和食イベントも開催しました（[動画](#)）。今年のテーマは巻き寿司体験とブリの解体ショーで、北海道のホタテや高知県のゆずジュース、おでんも提供しました。シンポジウム出席者に加え、ASEAN 事務局や ASEAN 各国・対話国代表部から多くの皆さんの参加を得て、和食の良さを味わっていただけたと思います。



AOIP 海洋協力セミナー（2023 年 11 月 24 日）

●「制度化」と「可視化」に向けて

11 月 24 日、豪・ASEAN 事務局の主催、インドネシア・日本・韓国の共催により、AOIP 海洋協力セミナーが開催されました。これは、8 月に ASEAN 議長国インドネシアの主導で開催した沿岸国経済に関する EAS ワークショップに続き、EAS 各国の参加を得た AOIP 協力に関するセミナーとして大きな注目を集めました。今回成果を、来月の日 ASEAN 特別首脳会議にも生かしていきたいと思えます。

今月特に強い印象を受けたのは、[模擬 ASEAN+日本](#)です（写真 1 頁）。ASEAN 財団は 2015 年から[模擬 ASEAN](#)を開催し、対話国とも連携しています。今年は 50 周年を迎える日本が選ばれ、ASEAN 各国から 60 名、日本から 12 名の計 72 名の大学生・大学院生が ASEAN 本部で模擬会議を開催し、共同声明を採択しました（[NHK 報道](#)）。

日 ASEAN 友好協力 50 周年の取組として大事なことは、新たな取組を今年だけで終わらせるのではなく、自然に継続・発展して成果が持続するように「制度化」し「可視化」する仕組みをつくることです。この模擬 ASEAN も含め、今年のモメンタムを生かして一連の行事が来年以降も継続するよう努力する所存です。皆さんも引き続きご参加、ご協力いただければ幸いです。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦